

全体的な計画

令和8年度 社会福祉法人徳風会 めぐみ保育園

保育理念	乳幼児の実態に即した望ましい環境を作り、豊かな生活体験をさせる中で心身ともに調和のとれた人間形成の基礎を養う。
保育方針	仏教を基本とした情操教育を基本とし、家庭的な雰囲気の中で、自主性、社会性、創造性を培い、あかるくやさしく、そしてたくましい子どもを育成します。そのために、年齢に即応したカリキュラムにもとづき保育を実施します。
保育目標	健康で安全な暮らしのできる子 自分からは自分でできる子 友達と仲良く遊べる子 自分から進んで取り組み工夫する子 心情豊かな子

社会的責任	人権尊重	説明責任	情報保護	苦情処理・解決
○児童福祉施設として、児童・保護者・地域に対し、保育所の役割を確実に果たす。	○園での保育が、子どもの人権を守るために、法的・制度的に良好であるよう配慮する。	○保護者や地域社会に対して、当園の理念・方針や保育活動の目的・計画を、多様な手段を用いて説明する。	○保育にあたり知り得た子どもや保護者に関する情報は、正当な理由なくして漏らしてはならない。(児童福祉法第18条の22)	○苦情解決責任者である園長のもとに、苦情解決責任者を決め、書面にのける体制を整備する。また、第三者委員を設置する。

☆発達過程
原則として、0～5歳児の各年齢1クラスの6クラス編成で保育を計画的に実施。保育所保育指針および当園の全体的な計画に基づき年間保育計画を作成。養護と教育が一体となった保育を展開する。

☆地域の実態とそれに対応した事業・行事
横浜市の田園地帯にあり、自然豊かな環境にある。都市部には隣接しているが、地域社会や人間関係がまだ十分に残った地域でもある。行事は卒園式、お別れ会、運動会、発表会、発表会、秋季遠足、卒園遠足、芋掘り、誕生会、コンサート、いちにちどうぶつむら、夏祭り、花祭り、成道会、作品展。

保育目標	0歳児	個々の生活リズムを整え、基本的な生活習慣を養う	3歳児	友達と遊ぶ中で自分のしたいことや言いたいことを言葉や行動で表現する
	1歳児	安心できる保育環境の中で、自分でしようとする気持ちが芽生える	4歳児	友達と遊びながら、繋がりを広げ集団として行動できるようになる
	2歳児	友達への関心が十分に育ち、繋がりを持つようにする	5歳児	目標に向かい力を合わせて活動し、達成感や充実感をみんなで味わう

		保育の内容											
		0歳児		1歳児		2歳児		3歳児		4歳児		5歳児	
養護	養護	生命の保持	食事・着替え・排泄などそれぞれの発達に合わせた介助をすることで、自分でしようとする気持ちを育てるようになる。	食事、着替え、排泄など、簡単な身の回りのことを自分でしようとする。自分でしようとする気持ちを育てるようになる。	食事、着替え、排泄など、簡単な身の回りのことを自分でしようとする。自分でしようとする気持ちを育てるようになる。	自分のことは自分で言い、健康・安全に過ごすために必要な習慣や態度を身に付けられるようになる。	自分の体や病気について関心を持ち、健康に過ごすために必要な習慣や態度を身に付けられるようになる。	危険なことに対する知識が深まり、決まりを守って生活が出来るようになる。					
		情緒の安定	人見知りや不安・甘え・怒りなどの感情を受けとめ、一人ひとりに合わせたスキンシップを多くとり、保育士との愛着を深めていく。	甘えや反抗、自己主張など、それぞれの感情を受けとめ一人ひとりに合わせたスキンシップを多くとり、安心して過ごせるようになる。	甘えや反抗、自己主張など、それぞれの感情を受けとめ、一人ひとりに合わせたスキンシップを多くとり、安心して過ごせるようになる。	一人ひとりの欲求を十分に満たし、機嫌よく生活できるようにする。	一人ひとりの欲求を十分に満たし、機嫌よく生活できるようにする。就学への不安などを軽減し、期待を持って過ごせるようになる。						
教育	身体的発達	健康	音楽を聴いたり、玩具や身近な生活用具で遊ぶ中で聞く・見る・触れるなどの感覚を豊かにし、手や指を使って遊べるようになる。	保育士と一緒に簡単な歌や手遊びを楽しんだり、リズムに合わせて体を動かしたりすることを楽しむ。午睡などの休息を十分にとり、心身の疲れや集団生活による緊張を和らげる。	戸外遊びを多く取り入れ、体を動かして遊ぶ楽しさを味わう。午睡などの休息を十分にとり、心身の疲れや集団生活による緊張を和らげる。	様々な玩具や道具を使ったり、集団で行う遊び(鬼ごっこ・ドッチボール等)を多く取り入れたりして体を動かして遊ぶ楽しさを味わう。	様々な玩具や道具を使ったり、集団で行う遊び(鬼ごっこ、ドッチボール等)を多く取り入れたりして、体を動かして遊ぶ楽しさを味わう。						
		人間関係	保育士が見守りの中で、周りの友達に関心を示し、少しずつ関わりを持つ中で一緒に過ごしたり、触れ合ったりして遊ぶ楽しさを覚える。	周りの友達に興味を示し、友達と関わって遊ぶ楽しさを味わう。自我が育ち、噛み付き等の行為や子供同士の衝突も増えるが保育士が仲立ちとなり、一緒に遊ぶ楽しさを体験できるように配慮する。	保育士や友達との関わりを大切に、一緒に遊ぶ楽しさを味わう。保育士や友達と一緒に絵本や紙芝居を見ることを楽しむ。	保育士や友達に対する親しみを深め、自分の気持ちを言葉で伝えるとともに、相手の気持ちも考えて行動できるようにする。異年齢の子とも達と進んで関わりを持ち、楽しく遊ぶ。	保育士や友達と進んで関わり、信頼感や愛情を持って生活する。自分の気持ちを言葉で伝え、相手の気持ちも考えて行動する。異年齢の子とも達と積極的に関わり、世話をしたり一緒に遊んだりすることを楽しむ。						
		環境	行動範囲が広がるので怪我や誤飲等がないよう安全な環境を整える。それぞれが自由に体を動かし遊べるようになる。	探索活動が盛んになり、活発に動き回るので怪我のないよう安全な環境を整える。身の回りの草花を見たり、触れたりして興味や好奇心を持つ。	身近な植物・昆虫や自然現象に興味を示し、見たり触れたりして遊ぶ楽しさを味わう。生活の中の様々な物に興味を示し、見たり触れたりする中で面白さや美しさなど新たな発見をする。	身近な植物・昆虫や自然現象に興味、関心を持ち、それらと触れ合ったり遊ぶ。身近な環境や身の回りの物事に触れ合う中で、自分たちの生活との関わりに関心を持ち、毎日の生活や遊びに取り入れる。	数・量・形・文字への関心を深め、字を書いたり読んだりすることの楽しさを味わう。身近な植物・昆虫や自然現象に興味関心を持ち、それらと触れ合ったり遊ぶ。身近な環境や身の回りの物事に触れ合う中で、自分たちの生活との関わりに関心を持ち、毎日の生活や遊びに取り入れる。						
精神的発達	言葉	笑ったり、泣いたりする子ども達の自己表現を受けとめ、優しく応えながら、発声や喃語を育む。家庭的な雰囲気の中で優しい言葉と笑顔で関わり、一人ひとりにあわせてスキンシップをとる。	発語や喃語に優しく応えたり、語りかけたりする中で、発声の意欲を育む。	日々の生活や遊びの中で、保育士や友達との言葉のやりとりを楽しむ。	自分の気持ちや欲求を言葉で表し、保育士や友達に伝えようとする。	保育士や友達の話の聞いたり、自分の経験したことや気持ちを話したりして、言葉で伝える楽しさを味わう。	自分の経験したことや考えたことを言葉で表現し、相手と伝え合う楽しさを味わう。						
	表現	それぞれの発達にあった絵本や玩具をそろえ、生活の場を豊かにする中で、身の回りの物や人への興味や関心の芽生えを促す。	保育士や友達のしていることに興味を示し、模倣や簡単なごっこ遊びを楽しむ。感じたことなどを身体で表現したり、言葉や仕草で伝えたりする。	身近な環境や身の回りで見たり起こる出来事に興味を持ち、模倣して遊ぶことを楽しむ。感じたことや思ったことなどを、歌ったり踊ったり好きな形で自由に表現する。	絵本や紙芝居を見たり、聞いたりして、その内容や面白さを楽しみ、イメージを膨らませる。数・量・形・文字への関心を深める。保育士や友達の話の聞いたり、自分の経験したことや気持ちを話したりして言葉で伝える楽しさを味わう。	絵本や紙芝居を見たり、聞いたりして、イメージを膨らませ想像することの楽しさを味わう。それらの内容や面白さについて、友達と話し合い、共有する。							
食育	食を営む力	それぞれの発達状態に合わせて、離乳食を開始する。離乳食は無理なく進め、ミルク以外の味やスプーンから食べることに慣れるようになる。	自分で食べようとする気持ちを大切に、楽しい雰囲気の中で食事が取れるようになる。好き嫌いもはっきりしてくるので、量や調理形態を工夫し、一人ひとりにあわせて無理のないようにする。	自分で食べようとする気持ちを大切に、楽しい雰囲気の中で食事がとれるようになる。好き嫌いや体調、気分によって、食欲に変化が見られるので、量や調理形態を工夫し、一人ひとりに合わせて無理のないようにする。	楽しい雰囲気の中で食事がとれるようになる。好き嫌いや体調、気分によって食欲に変化が見られるので、量や調理形態を工夫し、一人ひとりに合わせて無理のないようにする。食事のマナーを知り、身に付けていく。	友達と一緒に楽しい雰囲気の中で、食事が取れるようになる。嫌いな物でも一口は食べられるよう工夫し、バランスよく食事が取れるようになる。食事のマナーの大切さを理解し、よく噛んで食べる。	友達と一緒に楽しい雰囲気の中で食事が取れるようになる。バランスよく食べる大切さ(偏食、三角食べ等)を理解し、たくさんの種類の食べ物を選択しようとする。食事のマナーを守り、よく噛んで味わって食べる。						
健康支援	○健康診断(年2回) ○歯科検診(年2回) ○身体測定 ○日々の健康状態の視診 ○家庭での健康状態の把握 ○感染症についての広報												
環境・衛生管理	○施設内外の設備等の清掃 ○尿検査 ○検便(職員) ○布団乾燥 ○ペーパータオルの使用 ○手洗い・うがいの励行												
安全対策・事故防止	○避難訓練 ○消火訓練 ○消防点検 ○救命講習会 ○不審者侵入対策訓練 ○110番緊急速報装置 ○緊急地震速報装置 ○AED設置												
保護者・地域等への支援	○懇談会 ○保育参観・参加 ○個人面談 ○連絡帳による情報交換(0～2歳児) ○学年便りの発行 ○実習生の受け入れ ○園行事への近隣の方をご招待												
研修計画	○横浜市実施研修への参加 ○神奈川県実施研修への参加 ○横浜市社会福祉協議会実施研修への参加 ○園内研修(初任者研修、その他適宜実施)												
小学校との連携	○保育要録の送付 ○交流会への参加 ○幼保小研修会への参加												
特色ある保育	○専門講師による体育指導 ○専門講師による和太鼓指導 ○専門講師による音楽指導												
自己評価	○保育理念、保育方針、保育目標の理解 ○保育士の評価 ○保育所の評価												